

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	----------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	水産課水産しまね振興室長 三浦 順	電話番号	0852-22-5740
----------	-------------------	------	--------------

事務事業の名称	栽培漁業センター管理運営委託事業		
目的	(1) 対象	漁業者	
	(2) 意図	種苗生産業務の民間委託を実施することで、種苗生産の効率化と安定化を実現し、栽培漁業の振興による水産資源の増加と漁業経営の安定化に貢献する。	
事業概要	種苗生産業務を（公社）島根県水産振興協会に委託する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 種苗生産尾数	目標値		212.0	212.0	212.0	212.0	万尾
		取組目標値			302.0	302.0	302.0	
	式・定義 種苗生産尾数（マダイ・ヒラメ・イワガキ）	実績値	226.3	336.9				
		達成率	-	159.0				%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	115,824	100,909
うち一般財源 (千円)	71,422	71,514

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・管理運営の全面委託3年目となり、いずれの魚種も計画どおりもしくはそれ以上の種苗生産尾数となった。特にイワガキについて増産できた。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・イワガキ養殖業者の要望に対応できる生産技術のレベルアップが図られた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・H21～H22年度に実施した大規模改修の対象外施設・備品の破損・故障が発生している。
・マダイなど一部の魚種で依然として大量斃死が発生している。

②困っている状況が発生している「原因」

・大規模改修の対象外施設・備品の耐用年数が過ぎ、老朽化が顕著となっている。
・基本的な技術移転は完了したが、種苗生産は種々の要因により好不調の波がある。

③原因を解消するための「課題」

・修繕費、備品更新費用の確保。
・H30年度以降も県が技術サポートをする必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・管財課が策定した維持保全計画に基づき計画的に修繕を実施するとともに、備品についても更新費用を逐次確保していく。
・種苗生産状況について、水産振興協会との十分な連携のもと、必要時に県がサポートする。また、経費の縮減について水産振興協会を指導する。